


ジョウビタキ1号保護記録

保護日数	日付	曜日	エサ	BW(g)	備考
		金	ミルワーム	17.8	<p>保護地:滋賀県高島市安曇川町青柳 保護状況:夜中にバタバタと聞こえ見に行くと、ハエ取り紙にひっついてた。できるだけ痛くないようにと押さえながらゆっくりはがしたが、たくさんの羽が抜けた。飛べるかどうかわからないので保護してほしいとのこと。 状態:キールスコア3。粘着物が付着していたため、左翼初列風切羽の外2枚(軽微)と右翼初列風切羽(重度)と右翼次列風切羽(欠損)が破損および欠損している。胸の体羽もひっついてたようで乱れている。 右翼については、粘着物が残っているところを、綿棒をつかってサラダ油を利用し、除去。その後、食器用洗剤で油を洗い、ドライヤーで乾かしてから、保温した。乾いたところに飛ばしてみるが、うまく飛べない。</p>
1	1月22日				<p>洗浄前</p>    <p>洗浄後</p> 
2	1月23日	土	ミルワーム		飛べるものの、傾いている。徐々に落ちていく感じ。次列風切羽が欠損しているので、そこがはえてくるのを待ってみる。
3	1月24日	日	ミルワーム		
4	1月25日	月	ミルワーム		
5	1月26日	火	ミルワーム		
6	1月27日	水	ミルワーム		
7	1月28日	木	ミルワーム		
8	1月29日	金	ミルワーム		部屋で飛ばすと捕まえないぐらいに飛んでいる。抜けた次列などに変化はない。体力がもどった?慣れた?
9	1月30日	土	ミルワーム		部屋で飛ばす。抜けた次列などに変化はない。
10	1月31日	日	ミルワーム		
11	2月1日	月	ミルワーム		
12	2月2日	火	ミルワーム		<p>部屋で飛ばす。捕まえないぐらい良く飛べる。以降、部屋の中全体で飼育することにする。</p>  
13	2月3日	水	ミルワーム		
14	2月4日	木	ミルワーム		
15	2月5日	金	f		外に他のジョウビタキミが来て窓越しに鳴いている。かなり近くで保護された個体だが、もしナワバリがはっきり分かっているとすれば、保護地ピンポイントで放すほうが各個体に影響がないか。
16	2月6日	土	ミルワーム		
17	2月7日	日	ミルワーム		
18	2月8日	月	ミルワーム		
19	2月9日	火	ミルワーム		

20	2月10日	水	ミルワーム		4枚の新しい羽が生えてきている。初列の羽軸しかなく(羽弁がない)、かつ折れている1本を抜いてみる。 →後日2/23のチェックのときに伸びてきているのを確認
21	2月11日	木	ミルワーム		
22	2月12日	金	ミルワーム		
23	2月13日	土	ミルワーム		
24	2月14日	日	ミルワーム		
25	2月15日	月	ミルワーム		かなり激しく水浴びをした形跡あり。
26	2月16日	火	ミルワーム		
27	2月17日	水	ミルワーム		
28	2月18日	木	ミルワーム		
29	2月19日	金	ミルワーム		
30	2月20日	土	ミルワーム		
31	2月21日	日	ミルワーム		
32	2月22日	月	ミルワーム		
33	2月23日	火	ミルワーム		キールスコア3 翼の羽18枚がそろいつつある。 明らかに機能していない2枚 (外から2番目p9と4番目p7)を抜く。 
34	2月24日	水	ミルワーム		
35	2月25日	木	ミルワーム		
36	2月26日	金	ミルワーム		
37	2月27日	土	ミルワーム		
38	2月28日	日	ミルワーム		
39	3月1日	月	ミルワーム		
40	3月2日	火	ミルワーム		
41	3月3日	水	ミルワーム		
42	3月4日	木	ミルワーム		
43	3月5日	金	ミルワーム		
44	3月6日	土	ミルワーム		
45	3月7日	日	ミルワーム		
46	3月8日	月	ミルワーム		
47	3月9日	火	ミルワーム		放鳥に向け室温を下げる。日中はエアコンを切り、夜は17度設定に下げる。
48	3月10日	水	ミルワーム		日中も夜もエアコンを切る。かなり元気に飛んでいる。夜も特に膨羽の様子もない。
49	3月11日	木	ミルワーム		エアコンなしでも朝方は12°C程度。膨羽の様子もない。
50	3月12日	金	ミルワーム		窓を開けて外気温と同じにしていく。
51	3月13日	土	ミルワーム		外気温と同じにする。羽のチェック。問題なし。2本は先が折れているものの、途中までは羽弁も残っているため、そのままとする。抜いた羽も半分ぐらまで伸びてきており、飛翔に問題ないことが確認できているので、これからの渡りの時期を考えても、今、放鳥し、外に慣れる期間を持たせたい。
52	3月14日	日	ミルワーム	18.5	天候も良くなってくるので、保護場所で放鳥。保護主が、「あそこにいつもいた」と言うところにすぐに飛んでいき、しばらく位置する。少しすると、家屋の間を奥に行ったり、出てきたりして、問題ないことを確認して、観察終了。 